

小 論 文

注 意

1. 問題は全部で4ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

問題

次ページ以下の図表は、アジア諸国の日本に対する友好度(「親日度」)、および、日本における韓国と中国に対する友好度(「親近感」)についての調査から得られた結果をまとめたものである。

これらを参照して、

- (1) これらのデータからどういったことが読み取れるかを示し、
- (2) その状況についての自分なりの見解(問題点、解決策等を含む)を、600字以上800字以内で論じなさい。

注意

1. 本文は横書きとし、適切に段落分けをし、段落冒頭は1字下げること。カギ括弧や句読点などの記号の使い方は、原稿用紙における原則どおりに行うこと。
2. 参照した図表については、記述内で図表番号を明記すること。

《調査1》 アウンコンサルティング(株)「アジア10カ国の親日度調査」

- ・調査期間：2012年10月26日～11月2日，2014年8月4日～14日
- ・対象者条件：18歳以上の男女
- ・対象国：アジア10カ国(韓国，中国，台湾，香港，タイ，マレーシア，シンガポール，インドネシア，ベトナム，フィリピン)
- ・標本数：各国100人(ただし，2012年度のシンガポールについては53人)

図1 日本という国が好きですか？(2012年度，2014年度)

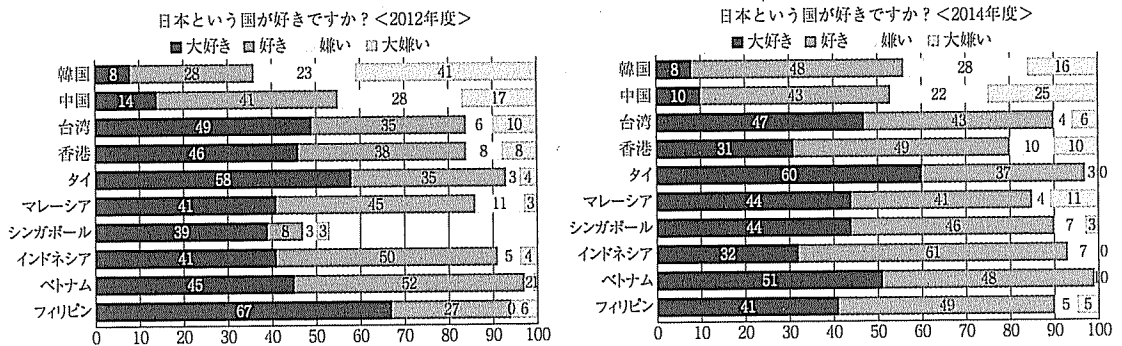
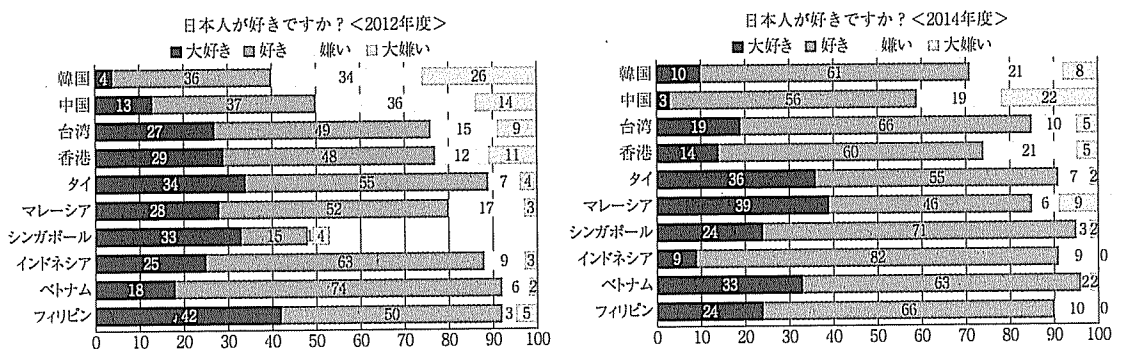


図2 日本人が好きですか？(2012年度，2014年度)



《調査 2》 内閣府「平成 25 年度 外交に関する世論調査」

- ・ 調査時期：2013 年 9 月 26 日～10 月 6 日
- ・ 調査対象：全国 20 歳以上の日本国籍を有する者
- ・ 標本数：3,000 人のうち有効回収数 1,848 人(61.6%)
- ・ 調査方法：調査員による個別面接聴取法

図 3 韓国に対する親近感

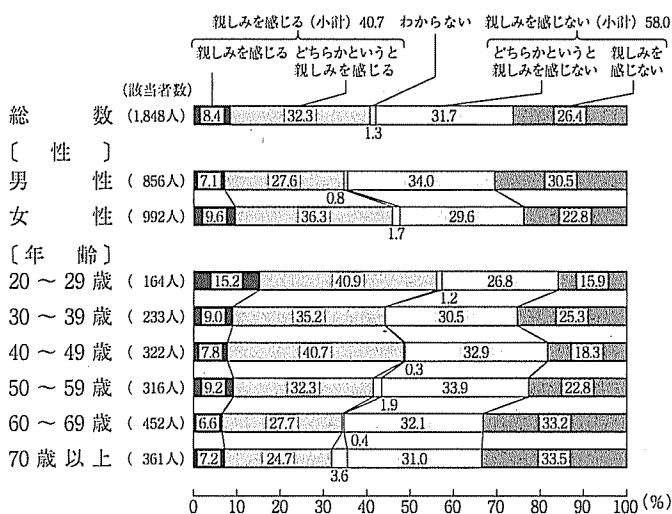


図 4 韓国に対する親近感

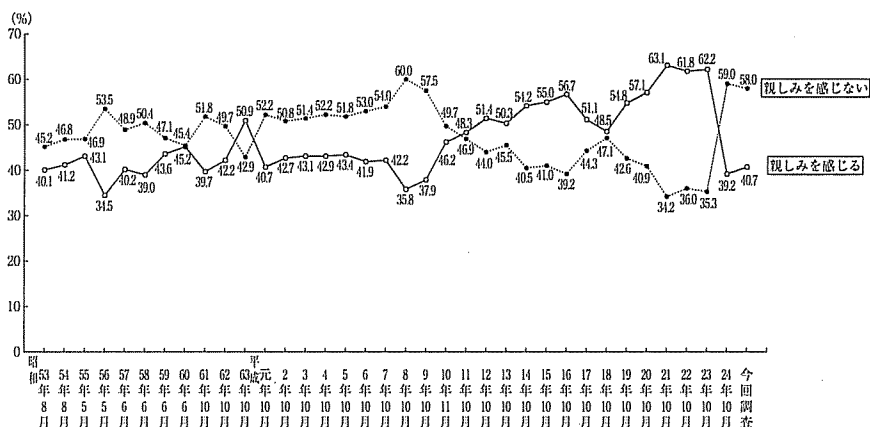


図5 中国に対する親近感

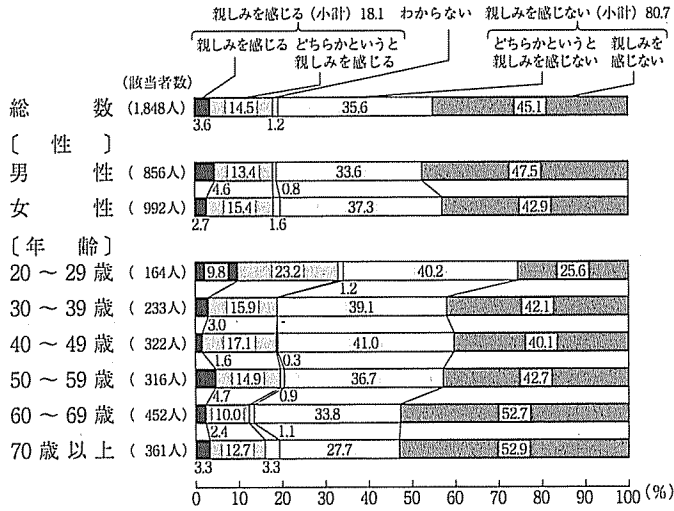


図6 中国に対する親近感

